

福音の園だより

【第7号 二〇〇五年七月十日発行】

350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎ 049・230・1111

Fax 049・230・1112

福音の園は、地域の宝です

中核地域生活支援センター あいネット

地域総合コーディネーター主任 泉 一成

昨年、福音の園を紹介させていただきました。千葉県柏市圏域のグループホーム等の懇談会で、福音の園を設計された島田様にグループホームの情報をいただき、すぐる思いで、お電話し、見学。なんともいえない木のぬくもりを感じました。暖かい雰囲気、「安心感」があり、一緒に見学されたご家族から「私が入りたい」と言われたほどです。

上福岡の駅に着くたび、二十五年ほど前、毎月2回、川越市諏訪町の社宅に転動してきた義兄のもとを訪れていたことを思い出します。さくら堤も歩いたように記憶しておりますが、誠に縁とは思議なものです。見学から半年以上経過しました。入居されたご本人もここでよかったですと安堵の思いです。一人ひとりの暮らしを支え、「誰もが安心してその人らしく暮らす」ことを職員の皆さんはじめ、地域の皆さんも参加し実行していることに敬意を表します。グループホームがあることによって地域福祉が耕され、地域が活性化している。まさに福音の園は、地域の宝です。

協力団体の声

愛・地球博で「福音の園・川越」紹介

NP法人 土と風の舎 副代表理事 渋谷 雅史
福音の園で、月2回の「癒しの園芸療法」を実践協力しています。埼玉県主催の「彩の国・癒しの園芸活動指導者養成研修・サポーター養成研修」を修了した園芸好きが中心となって結成し、園芸福祉活動を行なっている会員十八名のグループです。

以前、杉澤ホーム長さんが勤務しておられた老人福祉施設での園芸協力がきっかけで現在に至っております。福音の園では、開園当初より屋上活動広場の花壇等の創作設置、一階花菜園のまくら木花壇や園芸テザイン協力を担当してまいりました。

この度、来る七月二十日、愛知県で開催中の『愛・地球博(瀬戸会場)』にて、福音の園での園芸活動事例を紹介させていただくことになりました。

活動を始めて八ヶ月が経過いたしました。初めての園芸活動は押し花でお部屋のネームプレート作り。最初は不安げだった方の、作品を作り終えた時の笑顔。アマリス球根のカラーサンド植えでは、お布団の中で育ててくれようとされました。ジャガイモの植え付けでは、見事な畝づくりには感服の至りです。暑い中黙々と草むしりをしている姿、頭が下がります。たまたま染め葉書作りでは、お風呂の時間なのに続けてくれました。アジサイちぎり絵うちわ作りでは、飾り終えた時の歓声。時間の許す限り、皆さんの笑顔や笑い声を伝えていきたいと思っております。

杉澤ホーム長さんをはじめ、スタッフの皆さん、そして何より園の皆さんに支えられてこれまで活動を続けてくることができました。皆さん、これからもどうよろしく願いいたします。

ご家族の声

仙台―川越間の心の絵葉書便り

「おかあさん、こんにちは！ お元気ですか」で始まる私の絵葉書便りも二十七通を数えました。仙台―川越間の心のお便りです。

私たちの母(九十五才)が昨年十月より兄弟夫婦の計らいで「福音の園・川越」でお世話になりました。妹と訪問して以来続けている習慣となりました。

ホームは、静かな環境、清潔な広々とした施設、行き届いた職員の介護、心のこもったお食事といずれにも深い感銘を受けました。

私は、在仙時代の長かった母の好みを思い出しながら葉書を出していますが、思いがけなく母から返事が来るようになり、九通になりました。回を重ねる毎に文字も文章もしっかりとして、布の貼り絵、草花のたき染めなど私にも楽しみの一つとなりました。

日常の様々な心遣いが母をここまで元気にして下さいました。個人の尊厳を重んずるという方針に賛同し、心から感謝の気持ちでいっぱいです。(S・A)

生きがい活動報告

心のケア―「聖書の時間」スタート

地域の皆さまの協力により、ピアノの会(火曜)、園芸療法(水曜)、音楽療法(土曜)、民謡の会(日曜)を、生きがい活動日課として毎週ないし隔週毎に行なっております。

いよいよ今月より、熟練牧師による「聖書の時間」を開始いたします。人生の最晩年を尊厳と喜びを持って生活していただく希望への支援サ―ビスとして、しかし押し付けにならないよう配慮しつつお手伝いしてまいります。(ホーム長・杉澤卓巳)